

活動名 東区障害児のためのサマースクール	団体名	東区障害児のためのサマースクール
	地域	広島県広島市
	代表者	代表 馬本 佳代
	支援金額	10万円
活動概要		
<p>障害をもつ子ども達が</p> <p>①夏休みを有意義に過ごせるように、身近な地域での居場所作りをし、将来就労を支える余暇活動を豊かに積極的に行なう。</p> <p>②地域との交流・連携を図り、理解を深める。</p> <p>③身近な地域での学年・学校を超えた本人・保護者同士の交流</p> <p>④公共交通機関を利用してのが外出や外食で社会性やマナーを身につける。</p> <p>ことを目的としています。</p> <p>夏休みの9日間、講師を招いて、リトミック、クッキング、プール、工作、フィットネス、レクリエーション、スポーツ活動、マジック、きつつきコンサート、昼食会を行ないました。</p> <p>◆実施時期：2009年7月22日から2009年8月26日まで 東区総合福祉センター、心身障害者福祉センター、府中イオンモール</p> <p>◆参加人数：障害児 276名 保護者 224名 ヘルパー 67名 兄弟姉妹 76名 指導員 47名 ボランティア 27名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 717 名</p>		



《サマースクール初日》



《タオルストレッチ風景》



《手作りキーホルダー》



《マジック風景》

◆実施に伴う効果

・地域との交流・連携の点では、地域の1人暮らしの高齢者グループ(ひまわり会)とのレクレーション・きつつき作業所のきつつきコンサートは、大変好評で、毎年なくてはならないものになっています。また社協登録のボランティア、ヤングボランティアセミナー受講生、大学生ボランティアなど地域の方々がたくさんおられ、子ども達とふれあって理解を深めていただいています。

・団体内の影響として、活動終了後のアンケート結果(回収率69%)において、「満足した93.1%」「どちらでもない6.9%」と、とても満足度の高いものとなり、夏休み中の身近な地域での居場所になれたようです。また、規則正しい生活が送れ、新学期もリズムをくずすことなく登校できそうとの声がありました。

◆苦労した点

・予算・・・今年度は昨年度より参加人数が増えたこと、初参加の小学校低学年が増えたこと、指導員も初めてお願いするカタばかりということから、指導員5人のかたにお願いし、常時2~3人来て頂いた。そのため指導員料にかかる金額が当初計画よりかなり高いものになった。しかし、貴財団から助成金を頂いたお陰で、それに充てることが出来、その結果、指導員さんのきめ細やかなサポートを受け、子ども達も安定していた。

・指導員さんの確保・・・理解ある方で、夏休み期間中のみアルバイトということや、大学生は8月初めまで試験があるとのことで、なかなか決まらなかった。

◆今後の課題・発展の方向性

・課題

- ①今年度は財政的にとても恵まれていましたが、来年度以降の予算の確保
- ②年齢幅(小1~高3)、障害の種類・程度もさまざまなので、企画内容を決定するのに悩む
- ③役員の負担が大きくなっているので、若い保護者にも協力をお願いしたい。

・今後の会の発展性

- ④長期休暇を家の中で過ごしている障害児親子に沢山参加してもらい、さらにネットワークを広げていきたい。
- ⑤地域の方との交流を広げて、またたくさんのボランティアさんにもサポートをして頂くことで、理解を深めていきたい。

◆活動を終えての感想・意見等

今年で7年目を終えたサマースクールですが、年々定着し、参加者も増え、満足度も93%とかなり高いものとなってまいりました。身近で子どもの居場所となり、有意義な長期休暇になったと思われまます。これも貴財団に助成をして頂いたお陰で活動の幅が広がり、きめ細やかな指導員さん、ボランティアさんのサポートを受けることができたからだと思います。また貴財団のスペシャリストバンクからお越しいただいた長原様のマジックはとても好評でした。今後も安価で、多種類の芸をお持ちのスペシャリストバンクを活用させていただきたく思っております。貴財団に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。